

# ドクターケイ酸<sup>®</sup> 10

## 家庭園芸用複合肥料

### ● 茎や葉が丈夫になり受光能力が向上するケイ酸を配合

- ・液体のケイ酸肥料で、欲しいときにすぐ散布できる!!
- ・受光能力が向上することで、光合成が活性化!

### ● 必須元素ではないが重要な元素

- ・植物細胞の硬化、強化に優れる!
- ・病気にも風にも強い作物にするために!

### ● コリンの特徴

- ・植物に吸収されやすい!
- ・光合成 UP! 発根促進!!



### ● 農薬との混用について

ドクターケイ酸 10 はアルカリ性資材の為、農薬との混用については、以下の点に注意してください。また、少量でテストを行い、**凝集や沈殿、白濁などが見られた場合は単用でご使用ください。**

- ①すべての剤を水に溶かした後に最後に本剤を加用して下さい。
- ②浸透性の展着剤との混用は控えてください。
- ③金属を含む農薬（ボルドー、有機銅、銅水和剤、石灰硫黄合剤、ダイセン類等）との混用は控えてください。
- ④「アルカリ性資材との混用を控えてください」と記載のある農薬との混用は控えてください。

### ● 肥料・液肥との混用について

ドクターケイ酸 10 は pH がアルカリの資材のため、液肥、肥料等の混用は十分確認の上行ってください。

- ①液肥など酸性資材との原液+原液の使用はさけてください。
- ②カルシウム資材との混用は沈殿を生じやすいので注意してください。あらかじめドクターケイ酸 10 を希釈した上で混用すると沈殿し難くなる場合があります。

調製手順

肥料と混用

① 水

②

肥料

②

ドクターケイ酸10

カルシウム資材と混用

① 水

②

ドクターケイ酸10

③

カルシウム資材

※凝集・沈殿しなければ散布

### ● 注意事項

※ドクターケイ酸 10 はアルカリ性の資材のため、農薬や液肥、肥料等との混用は十分確認の上行ってください。

※幼児が飲んでしまわないよう、手の届かない冷暗所に保管してください。

※皮膚や眼に直接かかった場合は、石鹸で洗浄し、十分洗い流し医師の手当てを受けてください。



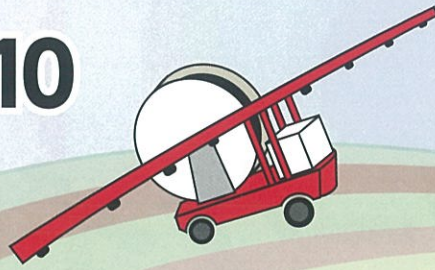
アグロ カネショウ株式会社

「ドクターケイ酸」はアグロ カネショウ（株）の登録商標

# ドクターケイ酸<sup>®</sup> 10

家庭園芸用複合肥料

灌水でも  
茎葉散布でも  
OK!!



## 水稲育苗での使用方法

**おすすめ!**

処理方法	使用目的	育苗期：田植 10 日前～直前まで	生育期：6/ 中～7/ 上 (幼穂形成期付近)
灌水 (苗箱)	苗の発根促進 細胞壁の硬化	①水少なめ 500 倍液 ( 500 ml / 箱 ) ②水 多 め 1000 倍液 (1000 ml / 箱 ) ※苗箱約 1000 枚分 (約 2ha 分)	体系 水田に流込施用 ドクターケイ酸 10 1 本 / 10a
葉面散布		500 倍液 (100 ml / m <sup>2</sup> ) 2 ~ 3 回	

### ● 期待される効果

- 発根が良くなり、萎れづらい
- 苗を固くして、風に強く
- 生育初期のケイ酸補給と活着促進
- 田植後の発根促進に

### ● 散布適期

- ①田植 10 日前に灌水もしくは茎葉散布
- ②6 月中旬～7 月上旬の幼穂形成期付近に水田に流し込み

## 花き類、野菜類での使用方法 ( 例 )

処理方法	使用目的	使用時期	希釈倍数
灌水 250 ~ 500L /100 坪	鮮度維持 徒長防止	生育中後期	500 ~ 1000 倍
葉面散布 100ml / m <sup>2</sup>		育苗期 定植初期	500 倍

### ● ここがポイント

- 細胞壁強化で春、秋の低温対策!
- 節間徒長防止、鮮度維持に

生育途中の徒長防止とケイ酸補給に!

